

【バスク地方とバスク語について】

丸亀市の姉妹都市はスペインのサンセバスティアン (San Sebastian) 市ですが、このまちにはもうひとつ名前があります。それはドノスティア (Donostia) という名前。なぜひとつの都市が2つの名前を持っているのでしょうか……。それはサンセバスティアンがバスク地方のまちだからなのです。「サンセバスティアン」はスペイン語の「ドノスティア」はバスク語での都市名です。

バスク地方、バスク人、バスク語……。バスクっていったい何でしょう？バスクって名前の国あったかな……。少し迷ってしまいますね。

バスク地方とはスペインとフランスの国境にまたがる地域のこと、そこに昔から住んでいたバスク民族の血を引く人たちが今も多く住んでいます。ピレネー山脈を境にスペインとフランスに別れて住んでいるバスク人の国籍は「スペイン」「フランス」です。そして、彼らは自分が住んでいる国の公用語であるスペイン語、フランス語はもちろん話せます。ですが、それに加えてバスク語という言葉も話す人も多くいるのです。スペイン語やフランス語はなんとなく聞いたことがある人も多いのではないのでしょうか？あるいは学生時代に勉強したことがある人もいるかも。よく知られている単語なら「グラシアス」はスペイン語、「ボンジュール」はフランス語……。では、この「バスク語」、いかがですか？どんな言語か想像がつくのでしょうか？

バスク語はスペイン語などと同じようにアルファベットで書き表しますが、言語系統は不明。世界中のどの言語とも関係を持たない「孤立語」だと言われています。一説にはバスク人の娘を誘惑しようとした悪魔が7年バスク語を勉強したが、難しすぎて、覚えた言葉が「はい(Bai: バイ)」と「いいえ (Ez: エス)」と言われるほど。ヨーロッパの言語は共通点の多いものが多いため、一度に何ヶ国語も話せる人が多いのですが（たとえば同じラテン語系のスペイン語、フランス語、イタリア語、ポルトガル語など）、このバスク語は他の言語との共通点がほぼないためにヨーロッパの人でも習得が難しいと言われています。試しに「私は日本語を話します。」を以下に色々な言語で見比べてみましょう。

スペイン語⇒ Yo hablo japonés. ヨ アプロ ハポネス

フランス語⇒ Je parle japonais. ジュ パレ ジャポネ

イタリア語⇒ Parlo giapponese. パルロ ジャッポネーゼ

ポルトガル語⇒ Eu falo japonês. エウ ファロ ジャポネス

バスク語⇒ Japonieraz hitz egiten dut. ハポニエラス イツ エギテン ドウト

なんだかバスク語だけが他の言語よりずいぶん違う感じがしませんか？謎が多いと言われているバスク語ですが、語順は日本語に近かったり、日本語によく似た言葉があったりします。たとえば“Kori bakarrik da.”は日本語の「こればかりだ」という意味と全く同じです。発音もほぼいっしょ。でも、日本語と関係があるかないかは……。謎です。確かに難しそうですが、謎めいていておもしろそうですね。

バスクの文化は奥が深いものですので、たくさんの人に興味を持ってもらえれば嬉しいです。そしてバスクの

地である姉妹都市サンセバスティアンにも！

最後に豆知識をひとつ。かの有名な宣教師フランシスコ・ザビエルはサンセバスティアン市のあるギプスコア州の隣、ナバラ州生まれのスペイン・バスク人です。

(バスク地方の旗)

